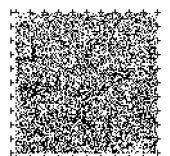


第6回専門部会（拡大専門部会）後の主な修正箇所一覧

章	節	項	項目	ページ	段落等	変更等の理由	
第1章 計画の基本的方向性							
		1 障害者施策の基本理念					
			4	基本理念Ⅲ 説明文	主語と述語が分かりにくい、との意見を踏まえて語順を入れ替えた。		
第2章 施策目標の実現に向けて							
	第1節 地域における自立生活を支える仕組みづくり						
	第2 地域生活を支える相談支援体制等の整備						
		1 相談支援体制の整備					
			7	2つ目の○	サービス等利用計画の作成が進捗していないことを踏まえて取組を進めるという記載にすべき、との意見を踏まえて修正		
			7	3つ目の○	期間が限定された支援だけではなく、地域における継続的な生活を支援する体制が必要である、との意見を踏まえて修正		
		4 地域生活支援事業等					
			10	3つ目の○	同行援護従業者養成研修について、「地域生活支援事業等」の項目に記載すべき、という意見を踏まえ、地域生活支援事業に位置付けられていることを記載した。		
	第5 安全・安心の確保						
		1 災害時における障害者支援					
			21	5つ目の○ (ページ内最後の○)	難病患者や精神障害者の多くが、災害時に不安に感じるのは医薬品等の入手についてである、という意見を踏まえ、福祉保健基礎調査のデータを記載した。		
			22	2つ目の○	修正意見を踏まえ、修正した。		
			22	3つ目の○	避難所において、自閉症者等のクールダウンのためのスペースが必要との意見を踏まえて、記載した。		
			22	4つ目の○	難病患者や精神障害者の多くが、災害時に不安に感じるのは医薬品等の入手についてである、という意見を踏まえ、医薬品の備蓄・調達について記載した。		
		2 地域生活の安全・安心の確保					
			23	5つ目の○ (ページ内最後の○)	消費生活情報に関する講師の派遣について、要請元の例示として、特別支援学校だけでなく、福祉施設についても明記すべき、との意見を踏まえて記載した。		
	第2節 社会で生きる力を高める支援の充実						
		第2 全ての学校における特別支援教育の充実					
			26	全般	これまでの修正の過程で、段落の順番が分かりにくくなってしまったので、全体的に段落順を整理した。		
			26	5つ目の○ (ページ内最後の○)	学校と福祉等の生活面の支援との連携について記載すべき、との意見を踏まえて記載した。		



章	節	項	項目	ページ	段落等	変更等の理由
第3節 いきいきと働ける社会の実現						
	第1 一般就労に向けた支援の充実・強化					
		3 目標達成のための方策				
		31	(2)の1つ目の○	就労後、困ったときに、どこに相談に行ってもよいかが分からない、との意見を踏まえ、区市町村障害者就労支援事業の生活面の支援の内容について例示した。		
第4節 バリアフリー社会の実現						
	第2 差別の解消と心のバリアフリーの推進					
		2 行政サービス等における配慮				
		37	5つ目の○ (ページ内4つ目の○)	選挙の投票において、意思表示の難しい障害者が、選挙公報の指差し等により意思を表示できることを記載すべき、との意見を踏まえて、選挙公報の使用だけにとどまらず、投票事務に従事する職員の障害の理解と障害の特性に応じた接遇スキルの向上が必要である、という観点から記載した。		
		4 情報バリアフリーの充実				
		39	2つ目の○	行政情報について、視覚障害者等に配慮して提供する情報の種類(量)を充実すべき、との意見を踏まえて記載した。		
		39	5つ目の○	日本の手話と外国の手話を併記していると混乱を生じる、との意見を踏まえ、日本の手話のすそ野を広げることが必要であることを、先に記載するよう修正した。		
第5節 サービス等を担う人材の養成・確保						
		42	6つ目の○	福祉人材の養成について、「ガイドヘルパー等」を「同行援護従業者、行動援護従業者等」と改めた。		
おわりに						
		44	6つ目の○	地域包括ケアについて、障害者も含む概念であるのに検討・記載がなかった、との課題提起を受けて記載を追加した。		

